

「夜間頻尿診療ガイドライン 第2版（2020）」について 下記を訂正します。

① p.28： CQ11「オキシブチニン経皮吸収型製剤」の2～4行目

オキシブチニン経皮吸収型製剤はプラセボに比べて、夜間排尿回数、夜間平均1回排尿量、夜間初回排尿量を有意に改善させたが、HUS と夜間多尿指数には有意な違いは認められなかった¹⁸⁾。

〔訂正文〕

オキシブチニン経皮吸収型製剤はプラセボに比べて、夜間排尿回数、夜間平均1回排尿量、夜間初回排尿量、HUS を有意に改善させた¹⁸⁾。

② p.150： 第8章 治療「(2) オキシブチニン経皮吸収型製剤（oxybutynin patch）」の解説文3～5行目

オキシブチニン経皮吸収型製剤はプラセボに比べて、夜間排尿回数、夜間平均1回排尿量、夜間初回排尿量を有意に改善させたが、就寝後夜間第一尿（覚醒）までの時間（HUS）と夜間多尿指数には有意な違いは認められなかった¹⁾。

〔訂正文〕

オキシブチニン経皮吸収型製剤はプラセボに比べて、夜間排尿回数、夜間平均1回排尿量、夜間初回排尿量、就寝後夜間第一尿（覚醒）までの時間（HUS）を有意に改善させた¹⁾。